

二人の息子さんとご本人が松本医院で
治療されましたが、症状の出方は様々でした。

「息子のアトピー治療手記」 匿名希望

(お母様記述) 2歳

2015年11月19日

松本医院の治療は私・長男の時もお世話になり、今回で3回目となりました。平成25年8月に次男が生まれました。息子は生後1ヶ月の頃、顔の一部にうつすら湿疹が出始め、生後3ヶ月の頃には顔全体にひろがり、掻き毟って、痒みの不快さを泣いて訴えるようになりました。「この子もやっぱりアトピーになってしまったなー・・・」と、ショックもありましたが、長男が松本医院の治療でアトピー完治を実証したので、今回も松本医院に行く決意をしました。

平成26年1月(生後5ヶ月)

治療方法は、漢方風呂・黄色・赤色の軟膏薬・抗生物質の塗り薬と長男の時と同じです。時間・お金・労力を要する治療ではありますが、家事・育児の多忙な状況下で息子の治療を毎日必死におこないました。

【治療開始～1ヶ月後】生後：5～6ヶ月

湿疹が顔・頭部・体全体・顔面の浮腫み・体液の発生など症状が一時的に悪化。もっとも症状がひどい時期でした。

【治療開始2～3ヶ月後】生後：7～8ヶ月

顔・体の湿疹多数、体液は止まりじゅくじゅくした部位が減少。

【治療開始4～10ヶ月後】生後：9～11ヶ月

体の湿疹は減少、顔の赤みはまだまだきつい。離乳食の進行とともに、実際に食べた物によって、日々の症状の変動が激しい時期。

【治療開始～1年半】生後：12～18ヶ月

体の湿疹は消えましたが、顔の赤みはなかなか消えず症状は低迷。治療方法の変更→漢方風呂中止・入浴剤の顔面パット+生薬の塗り薬。

【治療開始～本日まで】生後：24ヶ月

顔・体は赤みもとれ、肌はつるつるに！！膝の裏・肘の内側の特定部分に湿疹が残る程度。赤軟膏は使用継続中。

冒頭にも述べましたように、松本医院の治療は今回で3回目なので、アトピーが完治するまでの経緯は理解しており、絶対に治るという自信がありました。ですが、今回は長男の時に比べると非常に長期戦となり、症状の好転・悪化の変動が激しく、症状が低迷している期間が長かったです。親としてやりきれない気持ちになったこと、心が折れそうになったことも幾度とありました。

負の気持ちになった時には、必ず松本医院のHPを見て、松本先生の【アトピーの根本治療の論文】や【アトピー患者さんの手記】を読み返し、勇気をいただいで今日まで諦めずに治療を継続してきました。

そして、現在2歳3ヶ月になる息子は、見違えるように綺麗になってきました。完治まであと少しのところまで来ているので、粘り強く気長に治療を継続していきたいと思います。

息子の体内に入ってくる化学物質とIgE抗体の戦いが共存という形で終結し、「免疫寛容」というシステムが起こり始めたようです。ゆっくりではありませんが、確実に自身の免疫で病気を治す力が、開花し始めてきました。それが、松本先生が発見してくださった正しい治療＝『自然後天的免疫寛容』ということと認識しております。

最後になりましたが、松本先生には私自身そして長男・次男ともに、アトピーの治療で長期間大変お世話になりました。素晴らしい根本治療を推奨していただいたこと、感謝しています。

松本先生の大発見がもっと世に広まり、薬に頼らず、本来人間に備わっている免疫力で病気を治す方法を、より多くの方々に選択して欲しいと願って止みません。

今後とも、松本先生のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、最後の手記とさせていただきます。

以上